

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ヘルスアセスメントⅡ		必修	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
窪川 理英 他	404	r.kubokawa	火 12:10~13:00		
授業の目的・概要	看護の対象者を身体的だけでなく精神的、社会的視点から健康状態を査定するヘルスアセスメントは看護職に欠かせない能力となっている。看護の対象者の健康課題を個人としてだけではなく家族状況や地域特性を踏まえて把握したうえで、「ヘルスアセスメントⅠ」で学んだヘルスアセスメントの方法を用いて査定する臨床判断能力を養う。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	この授業では、人体構造機能学および疾病治療論で学んだ基礎知識及が必要となるので、講義前に復習をしておくことが望ましい。				
教科書	系統看護学講座専門Ⅰ基礎看護技術Ⅰ基礎看護学②/著:有田清子ほか/医学書院 看護が見えるVol3フィジカルアセスメント/医療情報研究所/メディックメディア				
参考書	特になし				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ヘルスアセスメントに必要な情報が理解できる。		HSU (3)、NS (1) ~ (3)		
②	状況に適したフィジカルイグザミネーションの必要性が考えられる。		HSU (3)、NS (1) ~ (3)		
③	心理的社会的観点から健康に影響を及ぼすことが考えられる。		HSU (3)、NS (1) ~ (3)		
④	ヘルスアセスメントができる。		HSU (3)、NS (1) ~ (3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	フィジカルイグザミネーションの復習	講義・演習	ヘルスアセスメントⅠの復習	1	
2	フィジカルイグザミネーションを活用してアセスメントを学ぶ	講義・演習	バイタルサイン測定の復習	1	
3	フィジカルアセスメント(呼吸・循環)について学習する。	講義・演習	事前課題呼吸・循環器系のアセスメントを実施しておく。	1	
4	フィジカルアセスメント(呼吸・循環)について学習する。	講義・演習	呼吸音、心拍音を聴取する部位を確認しておく。	1	
5	フィジカルアセスメント(消化系・腹部)について学習する。	講義・演習	事前課題消化器系腹部のアセスメントを実施しておく。	1	
6	フィジカルアセスメント(脳神経)について学習する。	講義・演習	事前課題脳神経のアセスメントを実施しておく。	1	
7	フィジカルアセスメント(中枢神経・骨筋)について学習する。	講義・演習	事前課題中枢神経・骨筋系のアセスメントを実施しておく。	1	
8	フィジカルアセスメント(中枢神経・骨筋)について学習する。	講義・演習	骨格の名称を再確認しておくこと。分度器の使用方法を確認しておく。	1	
9	【ヘルスアセスメント方法①】心理的側面について学習する。	講義・演習	事前課題心理的側面のアセスメントを実施しておく。	1	
10	【ヘルスアセスメント方法②】社会的側面について学習する。	講義・演習	事前課題社会的側面のアセスメントを実施しておく。	1	
11	【ヘルスアセスメント実践①】症例を考える	講義・演習	事例のヘルスアセスメントを実施しておく。	1	
12	【ヘルスアセスメント実践①】事例発表	講義・演習	発表の準備	1	
13	【ヘルスアセスメント実践②】症例を考える	講義・演習	事例のヘルスアセスメントを実施しておく。	1	
14	【ヘルスアセスメント実践②】事例発表	講義・演習	発表の準備	1	
15	ヘルスアセスメントから看護援助について学習する。	講義・演習	ヘルスアセスメントを振り返り疑問点を明らかにしておく	1	
試	筆記試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

【専門科目領域/専門科目群/看護の基本】

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	90	0	10	0	0	100
	思考・推論・創造する力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	定期試験においてヘルスアセスメント方法の理解を確認。アセスメントが出来るようになっているかを確認し評価する。				テストの解答を説明する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①	✓	グループワークにおける自らの役割をどのように考え取り組んだのか、課題をどのように検討したのかグループワークの学びと発表について評価する。				グループ発表評価を行い、各グループに返す。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
備 考							
他 担 当 教 員	坂本文子						
教 員 の 実 務 経 験	担当教員は、病院の看護師として20年の臨床経験を有する。						
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導の下、実践に沿った場面を提示しフィジカルイグザミネーションの方法を学ぶ。						
そ の 他	受講態度に問題がある場合は退室してもらう。教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めない。今後の社会情勢によって再度シラバスの変更がある。						